



＝ いまの憲法が私たちの暮らしを護る ＝

九条で東アジアの平和をつくる！

極めて極めて 危険な緊急事態条項

コロナウイルスの蔓延とウクライナ戦争を、改憲に絶好な機会と捉え一部の人たちが国民の不安を煽っています。民主国家が突然大国の軍事侵略を受けるなど、普段考えもしなかつたことに衝撃を受け「日本はこのままでいいのか」と戸惑わされています。

自民党からは7月の参議院選挙を念頭に敵基地攻撃能力、核共有さらには敵中枢への攻撃もと、軍事を強化しなければ今にも攻められ改憲をしなければ国を守ることができないと言いたてられています。

ここは国民主権者として冷静に考えてみなければなりません。今日日本に軍事侵略をしようとする相手国があつたとして、どのように対処するか

の備えはあるかという点とです。

その答えは専守防衛です。現憲法を基に今日に至るまで専守防衛は国民に支持され、軍事に頼ることなく国際社会の信頼を得てきました。日本は東アジアのウクライナになるのではと、大国米中の間にあり不安も抱きますが、これからも戦争を絶対に行かないという意志、そして他国に対しては軍事にたよらず外交で問題解決策を見出すという堅固な姿勢を示すことです。

これに反するのが、自民党が主張する反撃能力とごまかし言い換える「敵基地攻撃能力」また「核共有」です。周辺国の緊張を煽るばかりで国益になりません。さらに自民改憲素案の緊急事態条項は国民にとって全く

不要なものです。憲法を停止でき司法、立法、行政の三権全てを独占する極めて極めて危険な条項でもつての外です。頻発する自然災害そして有事

へは国会での立法と日頃の事前準備で対処できます。それでも不測な事態発生には参議院の緊急集会があり万全です。

また自衛隊の憲法への明記は明らかな違憲となりません。これまで国民の多数は個別的自衛権で運用される自衛隊をかううじて合憲と解釈してきました。しかし集団的自衛権を含む

自衛隊の明記は憲法違反へ

コロナの感染状況で変更・中止することがあります。

日本国憲法は国際平和への規範

自衛隊を憲法へ明記することは他国への武力行使を認めることとなり戦争の放棄、平和主義を謳う憲法の理念に反し違憲となる条文を抱えてしまいます。

つぎに日本を国際的視点から見てみましょう。国連には未だ旧敵国条項が存在します。

自衛隊を憲法へ明記することにより戦争の放棄、平和主義を謳う憲法の理念に反し違憲となる条文を抱えてしまいます。

国際的にみて九条を持つ日本国憲法は世界に誇れる先進的な規範です。戦後76年東アジアの緊張抑止にも貢献してきました。自民がいう改憲など全く不要です。

※旧敵国条項 国連憲章にあり第二次大戦中に連合国の敵国であった日本、ドイツ、イタリアなどが該当する。旧敵国からの侵略に備える強制行動は安保理の許可を必要とせず、旧敵国の侵略政策の再現に備えて設けられたもの。

今月の予定です

6月5日(日) 13:30～16:30
DAD 視聴と意見交換 「ユージン・スミスの水俣」
南部梅郷公民館 南地域九条の会

6月9日(木) 16:00～17:00
9の日 九条通信配布・ボードでアピール
梅郷駅 通路 野田・九条の会

6月11日(土) 13:30～16:00
野田・九条の会 9月例会「参議院選挙各党・候補者の政策を見る」
中央公民館 講座室 野田・九条の会

6月18日(土) 13:30～16:00
ビデオ上映と意見交換 「双葉から遠く離れて10年」
総合福祉会館 放射能汚染から子どもたちを守る会・野田

6月19日(日) 13:30～15:30
ちょっと野田「おしゃべりカフェ」(久しぶりに対面のおしゃべり復活！)
イオンノア店内3階 市民活動支援センター会議室2 野田・九条の会

7月3日(日) 13:30～16:30
DAD 視聴と意見交換 「日本人の忘れもの」フィリピンと中国の残習邦人
南部梅郷公民館 南地域九条の会

大 国と別の大国に挟まれて脅威に怯える日本は、どうやらその立ち位置がウクライナと似ているようです。政治権力に戦争を禁じる主権者国民の「眼」が、ますます重要になってきたと考えます。今こそ最もこの日本国憲法「九条の眼」を光らせなければならない時でしょう。

けれども現実を見れば、護憲派はウクライナ侵攻によって危地に追いやられてしまっているようです。破壊的ナリアリズムに引きずられざるを得ない状況は悲しいし悔しい。そもそも、九条が縛るのは自民政権のような自国の権力者なのであって、ウクライナのような他国の彼らではないからです。

ウ クライナの惨劇を前に非武装の理想は短期的には説得力を失い改憲派が勢いづいているとも言えます。では、この現実と理想との間での落としどころは？もちろん、改憲派のように安易に九条を投げ捨てるなど論外です。自国の政治権力をも野に放てば地獄しか残らないからです。太平洋戦争の教訓です。だからと言って、怯えおののき恐怖に駆られる人たちに九条の本

懐たるノー・ガードの非武装中立を説いても受け入れられないでしょう。

世界平和の調停者たるスウェーデンのNATO加入申請で、九条がその手本のひとつを失いつつある今、唯一のお手本はオーストリアか。中立を国是としながらも決して非武装の国ではないからです。

短 期的には「専守防衛」がキー・ワードとなるでしょう。やられたらやり返す。そのために必要最小限の実力は保持する。九条の本懐からは距離をおきますが現実的で説得的です。

しかし現状は敵基地攻撃能力など打撃力の保持論も広がり、「専守防衛」も「最小限の実力」も揺らいでいます。決してこちらからは手を出さないとくどく宣言し続ける。九条の世界布教を行う。二段構えで行く。もとよりこちらの方が重要です。ともあれ、最終的にはやはり非武装の理想こそが勝利すると信じます。

施行後75年踏ん張ったのですからあと75年は頑張れる筈です。

関東大震災から100年

森達也監督 映画化「福田村事件」

☀ 製作応援のお願い ☀

当会で学習会を行った「福田村事件」。100年前に地元野田で起こった虐殺事件が映画化されます。

関東大震災で主に朝鮮人が誤った差別意識の中で虐殺されたということは知られています。香川県から来た薬売行商の人たちが9人も自警団によって殺されました。忘れ去られて来た事実を地元の有志によって2003年慰霊碑が建立されました。

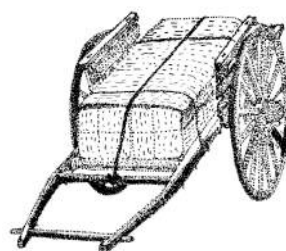
このことを知った森達也監督が事件から100年目の来年公開を目指し劇映画を製作中、製作費をクラウドファンディングで募っています。野田・九条の会として差別の歴史にきちんと向き合うために協力したいと考えました。

✉ 個人で応援 「福田村事件 映画化」で検索

✉ 野田・九条の会 事務局へ (1,000円以上でお願い
で集金し応援 します。)

○ 締切り 6月末日

○ お問い合わせ 04-7129-4297 (田口)



香川県からの薬売り行商人一行15名が三ッ堀の利根川に着く。